

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月21日（金）

活動者氏名	須田 渚		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	13 時から／石狩市役所周辺／石狩市職員の皆様、JTB 担当者様、社会人メンターのお二人、道内サポートメンバーの 3 人、インターン生 2 人と		
活動場所			
石狩市役所 403 会議室、たびのホテル石狩、活菜旬魚さんかい石狩花川店			
活動内容（詳細）			
13 時～ 顔合わせ、オリエンテーション、市長表敬（石狩市役所 403 会議室）			
16 時半 ホテルチェックイン（たびのホテル石狩）			
18 時～ 懇親会（さんかい石狩花川店）			
1 日の感想			
初日である今日は、羽田空港から石狩市への移動、社会人メンターの方々やサポートメンバーとの初対面、市長表敬など、緊張しながらも新たな体験を楽しむことができました。公務員を視野に入れている私にとって、市長表敬の場で自治体の首長から直接お話を伺えたことは、非常に印象深い経験となりました。 他のインターン生やサポートメンバーの皆さんは、それぞれ違ったきっかけや思いを持ちながら参加していますが、「石狩市の地域課題解決」という共通の目標に向かって協働できるという環境に改めてありがたさを感じました。自分に足りない部分を吸収させていただきつつ、関わる方々にとっても充実したインターンシップにできるよう、2 週間取り組んでいこうと思います。 また、札幌駅からバスで石狩市に向かう際、鉄道が通っていないことによる不便さをいくつか感じました。札幌駅から約 50 分、または手稲駅から約 30 分など、石狩市役所へ行くには比較的長時間のバスに乗る必要があります。道路は広く整備され、自動車学校も多く、車社会が発達している様子が見えましたが、降車時に現金で支払う高齢者の方が手間取ってしまう場面も見られました。また、社会人メンターの方からは「鉄道の駅がないから繁華街が発達しにくい」というお話も伺いました。GX を中心とした新たな産業の関係者の呼び込みのためにも、地域住民の交通手段の確保のために			

も、市内交通の課題解決は不可欠であると強く感じました。

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月22日（土）

活動者氏名	須田 渚	
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	14 時ごろ～／石狩市スポーツ広場／石狩市職員の皆様、JTB 担当者様、道内サポートメンバーのうち 2 人、他のインターン生 2 人	
活動場所		
石狩市スポーツ広場		
活動内容（詳細）		
14 時～ 市制施行 30 周年記念 2026 石狩市民花火大会運営サポート (石狩市スポーツ広場)		
1 日の感想		
2日目の今日は、花火大会のお手伝いとして、着ぐるみの中の人や出張店舗の販売のお手伝い、石狩鍋の実食など、普段なかなかできない経験をさせていただきました。着ぐるみに入っている際にたくさんの子供たちが寄ってきて写真を撮ってくれたり、市役所の職員の方々と一緒に特産品をアピールして販売したりする中で実際に感じたのは、「人と繋がれる仕事」の魅力です。私は公務員を視野に入れて就職活動をしており、国家公務員として働くのか地方公務員として働くのかはまだ定まっていないのですが、実際に地域のひとたちと関われる仕事はやはり地方公務員ならではの良さだと思いました。土曜日でしたが、朝早くから夜遅くまで作業をなさっていた市役所職員の皆さんを見て、地方公務員に対するイメージも大きく変わりました。一方、「ひとの暮らしを支えつつ利益を生み出す」といった企業ならではの良さについても考えることができ、就職についての視野が一層広がりました。 また、休憩時間や片付けの際に、インターンを担当してくださっている方々のキャリアについて質問をさせていただいたり、道内のサポートメンバーと話したりする中で、良い刺激をたくさんもらい、自分に足りない部分や将来やりたいことの方角性を見つけ出すことができました。		



花火の様子

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月23日（日）

活動者氏名	須田 渚
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9時～／厚田エリア／石狩市職員の方、JTB 担当者様、道内サポートメンバーのうち 2 人、他のインターン生 2 人と
活動場所	
飛ぶ鳥農場、厚田キャンプ場、お食事と民宿 八幡二、道の駅石狩「あいろーど厚田」、石狩油田、はまなすの丘公園	
活動内容（詳細）	
農場見学・経営者の方からのお話（飛ぶ鳥農場）、キャンプ場見学（厚田キャンプ場）、昼食（お食事と民宿 八幡二）、道の駅見学（道の駅石狩「あいろーど厚田」）、油田見学（石狩油田）、観光地見学（はまなすの丘公園）	
1 日の感想	
3日目の今日は、日曜日であるにも関わらず、石狩市職員の方とコーディネーターの方が厚田地区や本町地区の様々な場所に見学に連れて行ってくださいました。 最初に伺った「飛ぶ鳥農場」では、9年前から石狩で新規就農者として農家を営んでいらっしゃるオーナーの方に農場を見学させていただきました。平飼いの鶏や放し飼いの羊なども見せていただき、動物の自然な在り方を追求したオーナーのこだわりを感じました。特に印象に残っているのは、こだわって作っているとおっしゃっていた、鶏の餌を見せていただいた時です。市内で水産加工品の製造を行う企業である「佐藤水産」の鮭醤油（魚醤）の搾りかすを餌として用いることで、魚粉の使用を抑えつつ動物性たんぱく質が豊富な餌を実現している、とのことでした。醤油のいい香りがしており、搾りかすの他にも大豆や米、粳穀など、100%北海道産の穀物等を用いた餌でした。また、佐藤水産のお店で卵を使った商品を買ってもらっている、というお話も伺いました。そういった、地域の中で循環するような事業の仕組み作りも面白いと感じたため、これから本格的に取り組むビジネス案作成にも生かしていきたいと思います。 次に伺った「厚田キャンプ場」では、実際にキャンプ場の中を散策させていただく中で「道外の人を旅行で呼び込むスポットというよりも、週末にふらっとキャンプができるような地元の人々のレジャースポットといった形でとらえて移住・定住につなげる動きも視野にいれている」というお話を伺いま	

した。見学中でも、何組かキャンプやバーベキューを楽しんでいる家族連れなどがいて、札幌ナンバーも多かったように思います。見方を変えるだけで違った資源としての価値が生まれるというのがかなり面白いと思いました。

その後、昨年度までのインターンシップの拠点であった「八幡二」さんで、地域の食材をふんだんに使った食事をいただいた後、道の駅「あいロード厚田」では特産品の販売の様子や景色などを見せていただきました。

「石狩油田」は、山の中のかなり奥まった場所にありました。Google マップで案内された場所には石碑と門が残っているのみでしたが、別の入り口から原油が湧き出ている場所に行くことができました。実際は褐色の水たまりのような形で湧出している様子が確認でき、その水面には油膜らしきものも見ることもできました。事前に歴史や概要を教えてくださっていたため、現場を目の当たりにできたのはとても印象深かったです。

最後に向かったはまなすの丘公園も含め、厚田エリアを楽しむだけでなく、それぞれの場所で地域の歴史や関連情報を市の職員の方から直接伺える、とても贅沢な一日でした。インターンシップを支えてくださっている方々に感謝しながら、明日からの本格的な活動に臨みたいと思います。



厚田キャンプ場の様子



石狩油田鉱業所跡地の石碑／はまなすの丘公園の様子

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月24日（月）

活動者氏名	須田 渚		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	10 時から／石狩湾新港地域／石狩市企業連携推進課・商工労働課の方々、JTB 担当者様、石狩市交通政策課の方、社会人メンターのお二人、道内サポートメンバーの三人と		
活動場所			
新港西埠頭、株式会社 TJK 様、新港東埠頭、佐藤水産株式会社オールドリバー、5 工区、市役所 401 会議室			
活動内容（詳細）			
10 時～ 洋上風力発電見学（新港西埠頭側） 10 時半～ 株式会社 TJK さん訪問 11 時～ CTV、リサイクル機能、その他エネルギーについて（新港東埠頭） 12 時～ 昼食（佐藤水産株式会社・オールドリバー） 13 時～ RE ゾーン、データセンター周辺の見学（5 工区） 14 時～ 市内交通・HUNT PROJECT について（市役所 401 会議室）			
1 日の感想			
4 日目は新港地区の見学、市内交通についての説明、HUNT PROJECT についての説明でした。新港地区の見学では、市役所の企業連携推進課の方に案内していただき、陸上風力・洋上風力発電の設備等を間近で見せていただきました。石狩市の風力発電の概要や、メリット/デメリット、防風林等の住民への配慮などについても詳しく伺うことができました。特に印象的だったのは、「市という行政組織が地域と企業を繋ぐ」という考え方です。企業を誘致して新たな産業を発展させることで結果的に住民サービスの向上に繋げる、という立場はとても興味深いと感じました。 また、株式会社 TJK さんを訪問した際に、企業側も利益だけではないビジネスを展開しているということを感じました。午後に市役所で伺った HUNT PROJECT にもあったように、企業や行政、住民といった枠を超えたまちづくりが実践されているということを実感しました。 また、5 工区にも連れて行っていただき、RE ゾーンやデータセンターの誘致に関するお話も伺いました。企業にとっては、再生可能エネルギーを用いた事業を行うことで企業イメージの向上等が見込め、石狩市としても新たな地域活性化につながる、という WIN-WIN の関係性がまさに行政によって			

作り出されている例であると確認できました。

午後には市役所で交通政策課の方に市内交通の現状と課題について教えていただきました。市内路線バスの廃止や、その解決策の1つのデマンド交通の赤字など、実際私が住む地域にはない地域課題についてたくさん知ることができて新鮮に感じたとともに、解決の難しさも実感しました。また、HUNT PROJECT については、社会人メンターのお二人から、地域課題解決への思いや現状について伺いました。「石狩市民になったつもりで考えてほしい」というお言葉もいただいたので、常に「自分に何ができるのか」を探しながらあと10日間を過ごそうと強く感じました。



間近で見た陸上風力発電の様子



市役所にて、HUNT PROJECT についてのお話

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月25日（火）

活動者氏名	須田 渚	
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	10 時から／石狩湾新港地域／石狩市商工労働課の方々、JTB 担当者様、社会人メンターの方、道内サポートメンバーのうち 2 人、他のインターン生と	
活動場所		
石狩開発株式会社、新港地区、茨戸ガーデン・ノースヒル、冷電工業株式会社、株式会社ツキモク、JA さっぽろ地物市場とれのさと		
活動内容（詳細）		
10 時～ 石狩開発株式会社様訪問／概要説明		
11 時～ 新港地区見学／現地説明（11 工区、14 工区）		
11 時 45 分～ 昼食（茨戸ガーデン・ノースヒル）		
13 時～ 冷電工業株式会社様訪問		
14 時～ 株式会社ツキモク様訪問		
15 時 45 分～ JA さっぽろ地物市場とれのさと見学		
1 日の感想		
5 日目の今日は企業訪問が本格的に始まり、課題発見・解決に向けた分析力や思考力が必要とされる日でした。 石狩開発株式会社さんへの訪問では、概要や現状、課題等を最初の 1 時間ほどでご説明いただき、その後実際に現在分譲に出している 11 工区や 14 工区を案内していただきました。石狩開発さんでは新港地区への企業の誘致を行っているということで、現在に至るまでの経緯や今後の展望についてお話しいただきました。行政でも民間でもない第三セクターという立場の役割や運営について初めて知り、とても興味深かったです。 午後に伺った冷電工業さんとツキモクさんはどちらも民間の企業であり、冷電工業さんでは北海道を代表するコンビニチェーンであるセコマグループの一企業としての現状や課題についてお聞きしました。ツキモクさんでは実際に工場の見学をさせていただき、システムキッチンができ上っていく様子や新たな製品などをたくさん見せていただきました。 同じ新港地区にある企業さんを一日に複数訪問させていただくことで、抱える課題の類似点や相違点についても考えることができました。ビジネス案の検討にも生きてくると思うので、他の企業とも絡めながら考える、という視		

点をいろいろな企業を訪問する際に大事にしていきたいです。



ツキモクさんの工場で見せていただいたサウナ小屋の様子

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月26日（水）

活動者氏名	須田 渚
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	10 時から／石狩湾新港地域／石狩市商工労働課の方、JTB 担当者様、社会人メンターの方、道内サポートメンバーの 3 人、他のインターン生と
活動場所	
石狩地域バイオマス発電株式会社、茶房酒家你´s、さくらインターネット株式会社石狩データセンター、市役所 403 会議室	
活動内容（詳細）	
10 時～ 石狩地域バイオマス発電株式会社訪問・工場見学 11 時 30 分～ 昼食（茶房酒家你´s） 13 時～ さくらインターネット株式会社 石狩データセンター訪問・見学 15 時 45 分～ 三和交通株式会社（市役所 403 会議室） 17 時 30 分～ 共有（たびのホテル石狩）	
1 日の感想	
6 日目の今日は、新港地区に企業訪問に連れて行っていただくとともに、市役所で交通について改めて伺う一日でした。石狩バイオマス発電さんでは実際に木材チップを製造するところから発電するところまでの設備を見せていただきました。点検のため稼働はしていなかったのですが、その分ボイラーののぞき窓などの稼働中なら見られないようなところまで見せていただき、とても新鮮でした。 さくらインターネットさんのデータセンターでは、概要をご説明いただいた後にデータセンター内の様々な設備を案内していただき、再生可能エネルギーによる電力の供給方法や停電時の対策もお聞きすることができました。機密性の高い施設であると同っていたので緊張感がありつつも、サーバー室やコンテナ型データセンターなどの先端施設や、つらら・潮風対策の設備といった北海道特有の課題へのアプローチについても伺うことができました。REゾーンについて学んだうえで、実際にその敷地で何が行われているのかを知ることができたのは、知識と見たものを結びつける、という点でとても有意義な時間を過ごすことができました。 市役所で伺った三和交通さんのお話は、以前交通政策課の方に伺った交通課題を企業側からとらえる良い機会となりました。現状等をお聞きして分析	

する中で、交通課題を人不足の問題に読みかえるといった視点の変換できると思ったので、少しずつ課題解決につなげられるようなアプローチを取り込んで実践していきたいです。

また、私から提案して、行程が終了した後に学生たちで集まる時間をいただくことができました。企業を訪問して率直に思ったことや進捗等を共有する場として、メンバー全員にとっていい時間にできるように努めたいと思います。

また、インターンを通してさらに人間的に成長できるよう、環境や周りの方に感謝しながら来週の成果報告会まで全力で取り組もうと思います。



石狩地域バイオマス発電さんでお話を伺う様子

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月27日（木）

活動者氏名	須田 渚		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	10時から／花川地域／石狩市商工労働課の方、JTB 担当者様、社会人メンターの方、道内サポートメンバーの3人、他のインターン生と		
活動場所			
花乃大道さん、学習塾 WREERA、ふれあいの杜子ども館、石狩商工会議所			
活動内容（詳細）			
10時～10時50分 花乃大道さん訪問			
11時～11時40分 学習塾 WEREEREAさん訪問			
11時50分～12時50分 昼食（鮭爽醇烏ひだかさん）			
13時～14時30分 ふれあいの杜子ども館さん訪問・見学			
15時～17時 石狩商工会議所にてグループワーク			
1日の感想			
7日目の今日は花川地域の商店や学習塾など、今まで訪問してきた企業さんとは少し異なる雰囲気の訪問となりました。 花乃大道さんでは、地域の生花店としてお店が地域とどのように関わってきたか、これからどのように変化させていきたいかなどをお話しいただきました。厚田を訪問した際にも感じたような、人のあたたかさや人情あふれるお話をいただき、地域に根差した商店であるからこそその特色が見え、昨日までの比較もできて、コミュニティというものについて深く考えることができました。 学習塾 WREERAさんでは、数年前に石狩市でインターンシップを経験したのち移住を決め、地域おこし協力隊などの活動もなさってきた方のお話を伺うことができました。自分自身のインターン後のキャリア形成のための動きについて改めて考えるきっかけとなり、ビジネス案関連以外でも知見を得ることができました。 ふれあいの杜こども館さんでは、石狩市の子育て支援・教育支援の現場について実際に見学させていただくことができました。特に、親子向けイベントのお話はビジネス案検討にもつながると思いました。 商工会議所では、会議所についての紹介と課題解決ワークショップを行っていただきました。企業や行政ではない経済団体としての役割や、市役所の企業関連の部署とのちがいについて教えていただき、とても勉強になりました。			

明日からは市役所でのビジネス案検討に向けた動きが始まるので、今まで訪問させていただいた企業さんのことを振り返りながら、どんな形で地域課題解決を提案できるかをチームで考えていきたいです。



こども館の体育館の様子／商工会議所でのワークショップの様子

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月28日（金）

活動者氏名	須田 渚
行動記録 （いつ・どこで・誰と）	10時から／市役所周辺／石狩市商工労働課の方、JTB 担当者様、社会人メンターのお二人、道内サポートメンバーの3人、他のインターン生2人と
活動場所	
石狩市総合保健福祉センターりんくる、こども未来館あいぽーと、石狩市役所401 会議室	
活動内容（詳細）	
石狩市総合保健福祉センターりんくるりんくる見学 こども未来館あいぽーと訪問・見学 ビジネス案検討に向けたワークショップ（石狩市役所 401 会議室）	
1 日の感想	
8 日目の今日は、市役所周辺の施設の見学と、ビジネス案検討に向けたワークショップでした。 市の総合保健福祉センターであるりんくるでは、市役所に入っていない部署や、幅広い年代の健康や福祉の支援について扱う施設について見学させていただきました。私の住む市にも健康保険総合センターがあるのですが、今まで行ったことがなかったためとても新鮮でした。 こども未来館あいぽーとでは、こどもたちを支える理念や取り組みについて施設内を回りながらお話を伺いました。先日伺ったふれあいの杜児童館でも感じたような、市全体として子供たちを支えるあたたかい環境をここでも感じることができました。特に印象的だったのは、「こどもになりたい職業を聞いたときに、見たことがある数少ない職業しか挙げられないのはもったいない」というお言葉です。そういった思いから、館内に様々な設備を用意して子どもの経験を増やすという活動をしている、とおっしゃっていました。こうした支えてくれる人たちがいるから、成長した後に石狩に戻ってきたくなるのかなと思います。 午後の市役所でのワークショップでは、課題解決のスキームに沿ってビジネス案を考えました。また、来週以降一緒に活動するペアも発表され、このインターンの折り返し地点を実感しました。さらに気を引き締めてもう一週間を大事に過ごしたいです。	

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月29日(土)

活動者氏名	須田 渚		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	午後／札幌／インターン生 1 人とサポート生 1 人		
活動場所			
札幌市街地			
活動内容(詳細)			
観光(さっぽろテレビ塔、大通公園、北海道庁周辺、すすきの周辺、北海道大学)			
1 日の感想			
休日の今日は、道内サポートメンバーの一人が札幌を案内してくれました。テレビ塔、時計台、すすきの周辺、北海道大学など、札幌観光をしたことがなかった私にとってとても新鮮で、良い休日のリフレッシュになりました。 土曜日ということもあり、札幌市街地は多くの人でにぎわっていました。市街地を実際に歩いて思ったのは、名古屋に雰囲気似ているということです。札幌テレビ塔や大通公園、周りに広がるビルが、名古屋テレビ塔や久屋大通公園などに似ており、既視感を覚えて少し不思議でした。一つだけ違ったのは、8 月なのに少し肌寒かったことです。道内メンバーの子が、今年は涼しい夏だと教えてくれたので、来年も北海道に来てみたいです。 また、北海道大学のキャンパスでは、北海道マラソンの前日ということもあってランナーたちが走って最終調整をしている様子も見られました。 夕食時に、おすすめの本の話をしたり、それぞれがお互いどんな風に人生を進めたいかなどの話をしたり、リフレッシュだけでなく本当にいい刺激をもらうことができました。			



札幌時計台／すすきの周辺の様子



北海道庁の前でみつけた石狩市デザインのレンガ

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月30日（日）

活動者氏名	須田 渚		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	午後／エスコンフィールド北海道／インターン 担当者の方、インターン生、サポートメンバー		
活動場所			
エスコンフィールド北海道 旭山記念公園			
活動内容（詳細）			
野球観戦（エスコンフィールド北海道） ドライブ（旭山記念公園）			
1 日の感想			
2 日目の休日は、インターン生もう一人とサポート生 2 人と一緒に、インターン担当者の方にエスコンフィールド北海道に連れて行っていただきました。 入ってまず驚いたのは、その大きさと人の多さ、そして熱気です。野球場の他に、パーク内には宿泊施設や商業施設も併設されているということで、F ビレッジ全体の規模の大きさを一目で感じとることができました。また、開閉式の屋根が今日は閉まっていたので球場内と外の気温の差も感じやすかったです。 北広島から帰ってきてからは、他のインターン生やサポート生と合流して全員で夕食を食べたのち、学生でドライブに行きました。旭山記念公園で夜景を見たり動画を撮ったりして、仲が深まるとともにとてもリフレッシュできました。 明日からは、市役所の会議室にこもってビジネス案を検討したり発表資料を作ったりする日が続くので、周りの学生やメンターの方々の力をお借りしながらあと 4 日間やり切ろうと思います。			



エスコンフィールド北海道



旭山記念公園から見た夜景

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年8月31日（月）

活動者氏名	須田 渚		
行動記録 （いつ・どこで・誰と）	9時半から／石狩市役所 403 会議室／インターン担当者の方々、社会人メンターのお二人、JTB 担当者様、道内サポート生、インターン生		
活動場所			
石狩市役所 403 会議室			
活動内容（詳細）			
ビジネス案の検討（石狩市役所 403 会議室）			
1 日の感想			
今日から、ビジネス案発表に向けた本格的な検討・準備に入りました。ペアのサポート生との活動がメインでしたが、共有やフィードバックの時間もあり、夕方までの時間があっという間でした。 コンセプト、事業内容、マネタイズ面など様々なことをペアと話し合う中で、考えてきた案が本当にこれでいいのか、既存の事業とどう差別化できるのか、などいろいろな懸念点や悩みが生まれました。自分の提案に改善や修正を加えて具体的な形を持たせて人に伝える、という経験を学生時代にできるのは本当にありがたいと思うと同時に、あと3日間で仕上げることの難しさも感じました。また、ペアの子が「ちょっと場所変えようよ」「なんにも考えずにいったん休憩しよう」といった声をかけてくれて、とても助けられました。それでも少し落ち込んだ気持ちになったりもしました。 解散後、市役所のミーティングスペースでペアの子と作業や話し合いをしていた時に、社会人メンターの方やコーディネーターの方が様子を見に来てくださったりして、声をかけてくださったりして、周囲の方々にたくさん支えられているインターンシップだと実感した一日でした。			

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年9月1日（火）

活動者氏名	須田 渚
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9時半から／石狩市役所 301 会議室／市役所インターン担当者の方、JTB 担当者の方、社会人メンターのお二人、サポートメンバー3 人、インターン生 2 人と
活動場所	
石狩市役所 301 会議室、花川北コミュニティセンター	
活動内容（詳細）	
ビジネス案検討（石狩市役所 301 会議室） 石狩イコロの会食の祭典のスタッフ（花川北コミュニティセンター）	
1 日の感想	
今日もビジネス案の検討がメインでした。 私たちのペアは、昨日とは視点を変えて新しいビジネス案について検討しました。具体的には、職業体験プログラムの案から離れてアプリ開発について話し合いました。ほかのペアたちと同じ空間でやっていることで、焦りや緊張感なども感じるとともに、私のペアはビジネス案の検討や提案が上手な子なので、自分の力不足を実感しながらの作業となりました。ビジネス案を考え出すこと、それを実行するために修正したりアドバイスをもらったりすること、それを人に伝えることという、私が今までの人生で経験してこなかったことが多く、ペアの相手にはかなり助けてもらっています。 地域にメリットをもたらすビジネス案を提案しようという思いはみんな同じですが、実現できる形に持っていけるのか、利益を生み出しながら継続していけるのか、という点を考えると、それぞれ意見が違ったり迷走したりすることもあります。ですが、担当者の方をはじめ、たくさんの方からのサポートを毎日感じることができているので、残り数日ですが明日からも最善を尽くしたいと思います。 夕方からは花川北コミュニティセンターで石狩イコロの会食の祭典の運営のお手伝いをしました。来場者へのソフトドリンクの配布やゴミの回収を担当しつつ、地元飲食店の方々が提供なさっていた食事もいただき、私自身も楽しむことができました。地域の温かみを感じる瞬間も多々あり、花火大会のときと同様に、地域活性化につながるイベントの良さを改めて認識できました。	

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年9月2日（水）

活動者氏名	須田 渚	
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9 時半から／石狩市役所／市役所インターン担当者の方、JTB 担当者の方、社会人メンターのお二人、サポートメンバー3 人、インターン生 2 人と	
活動場所		
石狩市役所会議室、ミーティングスペース		
活動内容（詳細）		
ビジネス案検討、発表に向けた資料作成、広報紙用写真撮影		
1 日の感想		
今日は発表前日ということもあり、朝から夜までパソコンと対峙していた一日でした。午前中はペアごとに場所を変えてメンターや担当者の方についていただきました。そこで発表への方向性を再確認しつつ、改めて率直な意見を交換し、職業体験プログラムについて再度考えることにしました。市役所のミーティングスペースはきれいで開放的だったので、会議室とは違った気持ちで臨むことができました。 午後は、総合保健福祉センターりんくるで「広報いしかり」の撮影がありました。さけ太郎とさけ子のぬいぐるみやデマンド交通のミニチュアバスなど、石狩のグッズを持って、インターン生3人とサポート生3人の6人で表紙用の写真を撮っていただいたり、サポート生は手話の写真も撮影したりしていました。表紙撮影の合間に担当者の方も含めて7人で撮った写真は、発表前日の苦しい雰囲気の中でもとてもいい写真だったので、スマホのロック画面にしたいくらいお気に入りです。 写真撮影のあと、朝から体調が優れなかったペアの子が帰り、昨日まで負担をかけていたことにすごく申し訳なくなりました。ですが、昨日までたくさん助けてもらっていた分今度は自分がやらなければと奮起につながったとともに、担当者の方もたくさん手伝ってくださったので沈まずスムーズに作業を進めることができました。また、他にも多くの方に声をかけていただき、あたたかいサポートを実感したので、明日の発表までやり切りたいです。		



りんくるで撮った7人の写真

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年9月3日（木）

活動者氏名	須田 渚
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	9時半から／石狩市役所、花川北コミュニティセンター／市役所インターン担当者の方、JTB 担当者の方、社会人メンターのお 2 人、サポートメンバー3 人、インターン生 2 人と
活動場所	
石狩市役所会議室、花川北コミュニティセンター	
活動内容（詳細）	
9時半～ 発表用資料の最終調整（石狩市役所会議室） 16時～ インターン最終報告会（花川北コミュニティセンター）	
1 日の感想	
今日はいよいよ発表日だったので、午前中は会議室で最終調整にあたり、各ペアがスライドや原稿の作成に励みました。私のペアも体調不良を治して来てくれて、最後は二人で作業をすることができました。かなり切羽詰まっていたので焦る気持ちもありつつ、市役所の食堂で昼食を食べた後最終調整をして、午後に花川北コミュニティセンターに向かいました。 会場ではまず、実際にスクリーンに投影した発表練習を何度かしました。堂々とした態度でゆっくり話すことは予想以上に難しく、都度フィードバックをもらいながら発表の仕方を調整しました。会議室での練習とは違って緊張感が伴った雰囲気でしたが、他のメンバーとの他愛のない会話や、メンターの方が下さったお菓子を食べることでかなりリラックスできました。皆で組んだ円陣も楽しかったです。 本番では、インターン中にお話を伺った市役所の方々や訪問させていただいた企業の方々など、たくさんの方に来ていただけたので、私たちが2週間で学んだことや考えたことをお返ししようという気持ちで臨みました。自分で行っているときには思いつかなかったような視点からの鋭い質問をいただいたり、企業・商工会議所・市役所の方々からそれぞれ講評をいただいたりして、成長につながるような良い機会となりました。また、発表後に「ぜひ実現してほしい」といった声をかけていただいたのもありがたかったです。悩みや葛藤など様々なことがあった2週間を、何とか形にして発表までつなげられたことに対する達成感なども感じるすることができました。	



報告会での記念撮影

石狩市まちづくり実践インターンシップ 活動報告書

令和8年9月4日（金）

活動者氏名	須田 渚		
行動記録 (いつ・どこで・誰と)	10時から／石狩市役所／市役所インターン担当者の方々、JTB 担当者の方、社会人メンターのお二人、サポートメンバー、インターン生		
活動場所			
石狩市役所会議室			
活動内容（詳細）			
修了式（石狩市役所会議室）			
1日の感想			
最終日は市役所で修了証をいただき、学生が一人ずつインターンの感想を述べたり市役所の方々にお言葉をいただいたりした後、写真撮影をして解散という流れでした。 「提案したビジネスプランの今後を見にまた石狩に戻っておいで」とメンターの方が言ってくださり、ありがたさを感じるとともに、私自身も提案だけで終わらせたくないという思いが生まれました。この2週間で石狩市にたくさん成長させていただき、自分にとって本当に思い入れの深い土地となったため、東京に帰ってからも何らかの形で関わっていきたいと思います。 また、道内学生の3人から、先日りんくるで撮った、担当してくださった市職員を含めた7人の写真が入ったお揃いのキーホルダーをもらいました。形として2週間の思い出を持って帰れて本当に嬉しいです。 修了式の後、道内学生の3人が新千歳空港まで車を出してくれました。空港でラーメンを食べたりお土産を買ったりして、最後の数時間を一緒に過ごすことができ、感謝しきれないくらい良い形でインターンを終えることができました。 また、羽田空港に着いた後も、道外学生の3人でまた会う約束をできたのも嬉しかったです。今回のインターンでできた人とのつながりをこれからも大事にしていきたいです。			



写真撮影の様子